

# 共にしあわせ産みだす党 日本共産党 市議団ニュース

第1888号 2018年9月9日

日本共産党 根室市議団  
根室市宝林町4-203 TEL23-6023



## 根室市議会と北海道議会の 北方領土対策特別委員会が、 地域振興など意見交換を行う

8月30日、北海道議会の北方領土対策特別委員会と根室市議会の北方領土対策特別委員会(田塚委員長)との意見交換会が北方四島交流センター「二ホロ」で開催されました。

根室市議会の各委員からは、北特法が改正され長年の課題だった北方基金の取り崩しが可能になったことを受け、その運用については隣接地域の意見を十分にききながら、補助金の運用としてより使い勝手の良い制度にしていくよう求めました。

また、共同経済活動については、基金を取り崩した財源とは別に、きちんと国が財源保障するよう求めていく必要があることを確認していました。

そのほか、12月1日に東京で行われている中央アピール行進に、道議会や知事も、積極的に参加していくことを求める発言が相次いでいました。

また北対協の融資制度について、法改正されたものの、まだ対象が限定的であり不十分として、これから三世や四世の時代になっていく中、広く後継者が対象となるような制度としていくよう求める発言がありました。

道議会側からは、共同経済活動について、いま一体どういう状況になっているのか、国等からの情報がまったく伝えられず、道としても対応に苦慮している様子などが説明されました。



## 市の修学資金の貸付制度

**本人が希望しても市内に就職先が無ければ直ちに返済が必要…  
弾力的な運用が必要では？**

根室市では、地域的に不足している医療や福祉の専門職を確保するために、独自の修学資金の貸し付け制度を設けています。

現在は医科大や看護学校などに就学する44名の方が利用中です。これは「貸し付け金」ですが、卒業後に一定期間を市内の事業所に勤務すれば返済が免除されます。

ところが市内に勤務しなければ、3か月以内に全額を一括で返済しなければなりません。もし本人の都合で他のまちに就職するのなら、当初からの約束なので直ちに返済するのは当然かもしれません。

しかし本人が市内の就職を希望しながらも、卒業するタイミングでは根室市内どこの事業所でも、その職種を募集していなければ？ 現在の制度では、その場合も同じように一括で返済しなければなりません。

例えば検査技師やリハビリの技師などは事業所の採用枠も少なく、毎年必ず募集があるとは限りません。

将来的に必要な人材確保の点からも、本人が根室市に勤務を希望していながら、それが叶わない場合には、市として個別の状況を判断しながら、返済を一定期間猶予するなど、弾力的な対応が必要ではないかと考えます。



## 根室市 総合防災訓練を実施



8月30日、根室市総合防災訓練が花咲港の特設会場で開催されました。市長のあいさつによると根室市や消防、警察、自衛隊、民間企業や町会など37機関2614人が参加し、災害に備えて様々な機関や団体が連携しながら訓練を実施されていました。

今年も地震や豪雨による災害が西日本を中心に全国各地で相次いでいます。9月に入ってからも、台風21号によって四国や関西で大変な被害が生じました。被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

根室では今年度は地震や台風による大きな被害は今のところ出ていません(9月5日時点)。しかし「いつ、どこで、何が起きてもおかしくない」というのが近年の災害ではないかと思えます。

各地の報道で多くの被災者が「こんな被害は一度も経験がない」と話されていたのが印象的です。これまでは大丈夫だった、という経験が通用しなくなった時代なのだと思います。

まして根室は2018年に示された今後30年以内の予測で震度6弱以上の発生確率は78%に上がり続けているそうです。

日ごろからしっかりと家庭や地域での備えを進めながら、市行政としても最新の知見を取り入れたなかでその対策を進めていくよう、私たちも協力して取り組んでいきたいと思えます。